



Teikyo University KENDO Club

Teikyo University KENDO Club

剣道部

学生スポーツを極めつつ、日本一をめざす



about KENDO . . .

明治、大正期に日本古来の剣術をベースに誕生した剣道は、日本人の精神の根幹とも言える武士道の精神を今に伝え、高い競技性と同時に今なお精神修行の趣きを兼ね備える。国内の競技人口は他の武道を遥かに凌ぎ、メジャーな球技にも引けを取らない。また生涯スポーツとして老若男女、競技年齢を問わず竹刀を握ることができる。



Teikyo University KENDO Club

帝京大学剣道部

礼に始まり礼に終わる。

日本人の心、武士道の精神を今に伝える剣道。

猛暑の中でも厚く重い胴着や面をまとい、
寒さに震える冬も板張りの上を裸足で足を運ぶ。

体育館に竹刀のぶつかり合う音やかけ声が響く中
中里祥雄監督の静かな視線が61名の剣士たちに送られる。
言葉少なく、決して声を荒げることのない監督の指導が、
選手ひとりひとりの心に染み渡る。

日本中の数多くの学生剣士たちが目指す大学日本一への道。
中里監督の指導と日々の厳しい稽古によって
気付いた自らの可能性と芽生えた自信が
彼らを頂点へと導く。



学生スポーツを極めつつ、日本一をめざす

大学剣道は大学スポーツの中で驚くほど盛んで競技性も極めて高い。男子は名門国士舘、中央を筆頭に、国立大学、伝統校、さらに近年誕生した体育系大学がしのぎを削り、女子は数々の大学が群雄割拠の様相を呈している。

個人、学校対抗の団体とも盛んだが、帝京大学剣道部の最終的な目標は、あくまでも団体戦による学生日本一だ。男子は、中里体制になってからこれまで一度もその舞台である全日本剣道優勝大会の出場権を逃したことはなく、その実力は既に関係者から高く評価され、伝統校、強豪校と呼ばれている大学からも一目を置かれる存在になっている。一方の女子はここしばらく不遇の時代が続いていた。団体規定の5名の選手が揃わず、4名で出場したのも最近の話だ。だが今年、部員数が11名となり、杉山主将の下、逆襲のろしをあげたところだ。

だが、中学、高校でも長く教鞭をとっていた中里監督が目指すのは競技者としての頂点だけではない。競技を高めると同時に学生の本分をわきまえ、大学4年間に社会人としての常識も身に付けることをよとしていく。

2001年に監督就任以来ゆっくりと確実に歩みを進めてきた中里体制も来年で10年目、いよいよ結実の時を迎える。

CLUB DATA

帝京大学剣道部
創部：1966年
監督：中里祥雄
師範：大塚敬彦
主将：近藤浩貴(経済学部4年)
女子主将：杉山実紅(文学部4年)
部員数：61名(2009年8月現在)

帝京大学剣道部

CONTENTS

- 03 学生スポーツを極めつつ、日本一を目指す
- 06 イヤーブック発刊に寄せて 帝京大学 理事長・学長 冲永佳史 ほか
- 07 目次
- 08 自主性をもとに個々の意欲を高める 中里祥雄監督インタビュー
- 11 中里監督指導の真骨頂 部内トーナメントに迫る
- 12 スペシャルインタビュー 師範 大塚敬彦
- 14 アスリートの肖像Ⅰ 主将 近藤浩貴(4年)
- 15 アスリートの肖像Ⅱ 女子主将 杉山実紅(4年)
- 16 アスリートの肖像Ⅲ 猪瀬康宏(3年)
- 17 アスリートの肖像Ⅳ 2年生インタビュー 本田一志、竹内真李
- 19 アスリートの肖像Ⅴ 赤星佑幸(1年)
- 20 全選手集合写真
- 22 女子選手全員集合
- 23 アスリートの肖像Ⅵ 女子選手グループインタビュー 川上光子(2年)、熊倉由紀(2年)、坂本怜美(2年)、藤井実季(1年)
- 24 保存版 全選手選手名鑑
- 35 中里監督が選んだ剣道部なんでもナンバー1
- 36 近年の主な試合記録



帝京大学 理事長・学長
冲永 佳史



『剣道』とは双方が防具を身に纏い、竹刀を用いて一対一で打突しあう運動競技種目と見られますが、実際には、稽古を続けることによって心身を鍛錬し、さらに技を身に着けることによって人間形成をする『武道』ではないかと考えます。

また全日本剣道連盟によるその定義は『剣道』とは、日本の武士が剣(日本刀)を使った戦いを通じ、剣の理法を自得するために歩む道を指し、剣道を学ぶという事は、この剣の理法を学ぶことを意味する』と記されています。少し前置きが長くなりましたが、本学剣道部においても、教士七段である中里

祥雄監督の指導の下、これまで数多くの優秀な人材を世に輩出し続けてまいりました。

そして単に勝敗だけにこだわらず、チームワークを大前提としながらも、本学の基本精神のひとつである『自分流』を貫き自らを律するその姿勢は、賞賛に値すべき姿であると考えます。

10月に開催される全日本学生剣道優勝大会では、日々の取り組みがより良い成果となって表れることを祈念し、イヤーブック発刊のご挨拶に代えさせていただきます。

帝京大学 八王子キャンパス 事務長
強化クラブ室 室長

古張 隆

日本の伝統と日本人の心を伝える剣道の競技人口はおよそ150万人と言われ、競技団体に関してはサッカーや野球を除くほとんどの球技のそれを凌ぐ人気スポーツが剣道です。

そのため力を注ぐ大学も多く、本学剣道部もまさしく『激戦区』の中で戦ってまいりました。一昨年の全日本学生剣道優勝大会でのベスト16が示すように、頂点まであともう少しのところまで来ています。

さらにその魅力をもう一つ付け加えるのであれば、剣道は年齢に関係ない生涯武道として愛されている点、そして暑い真夏でも胴着・面を身に付け、極寒の冬でも裸足で打ち込む点ではないでしょうか。現役部員にとってこの4年間は、その充実感とともに大変厳しい日々には違いないでしょうが、引き続きこの偉大なる『武道』に没頭し続けてください。

帝京大学 学生サポートセンター グループリーダー
強化クラブ室 副室長

直井 範行

我が帝京大学強化クラブのひとつである剣道部は、大塚師範、中里監督率いる6名の精鋭部員を擁するクラブである。

『全日本学生剣道優勝大会』に出場を果たすべく、そのための条件となる『関東学生剣道優勝大会』での上位入賞へ、その目的に向かって厳しい稽古を日々積んでいるところである。

部員が丸となって竹刀を構えしぎを削っているところと思うが、相手の繰り出す技に、自然に身体が反応するまで気を高

め、密度の高い練習に精を出してください。また、剣道部員の中には警察官を目指している剣道部員がいると聞いていますが、剣道は警察の表芸のひとつであると言われています。警視庁剣道の先生になるべく頑張ってください。先輩の中にはすでに第一線の警察署の剣道助教として活躍している方がいます。

どうか、将来の警視庁剣道師範を帝京大学剣道部から輩出してください。活躍を期待しています。

体と体をぶつけて戦う競技ですから
自分から意欲を持って勝つという意識がないと
対等の勝負にならないんです。

スペシャルインタビュー

中里祥雄監督

大学剣道の頂点を目指す帝京大学剣道部。
その剣道部を率いるのは自らも帝京大学出身の中里祥雄監督だ。
帝京大学高校教諭から転身してこの部の監督に就任して9年目。
その指導の成果はゆっくりだが着実に結実しつつある。
その中里監督に現在のクラブの状況、剣道への想い、目標などを聞いた。

他校から対等に評価されている表れだ、意識して頑張っているんです。

■これまでと比べて今年のチーム状況はいかがですか？

ここ数年で徐々にですが確実に右肩上がりで、去年よりは今年の方がレベルはあがっていると思います。去年は関東(学生剣道優勝大会)ではベスト8で専修に、全日本学生剣道優勝大会では2回戦で国際武道に僅かなところで守り切られてしまいました。専修や国際武道は伝統校であり強豪校ですから、真つ勝負してくれなかったんですけど、守り通されちゃったんです。正直そういう展開になるとは思っていなかったんですが、それは対等に評価されている表れだし、意識してくれているということだと思います。それは学生たちもだいたい感じていてと思います。国士館、日体、専修、国際武道など伝統校や強豪校が集まる練習試合をやっている、以前は呼んでもらえなかったんですが、今は必ずお誘いの電話がかかってくるようになって、ここ数年一緒にやるようになりまして。今の大学剣道は中央と国士館が別格でいますけど、それ以外はどのチームも強いですね。現在約60大学が選手を集めて強化しています。その中で20大学がピックアップされています。帝京大学はその中のひとつとして見られています。東へベスト16、全日本のシード権を取るところまでかひとつの壁で、それを乗り越えるための段階に行きます。今はその段階で選手たちも自信を持っています。

■クラブの強化という面での苦労はありますか？

剣道は全国的にも強化をしている大学が多い競技です。筑波をはじめ国立大学も選

手を集めていますし、中央、国士館の2強のほか伝統校も同様です。そのほか多くの大学が選手を集めています。そうした状況の中で高校時代にトップクラスだった選手に来てもらうことは難しいです。ですから私が選手を見る基準は、この選手は大学時代に伸びそうだなという点になります。試合を見て、ほしい選手が見つかる、その選手の高校に行って練習を見せてもらいませ。試合の時は着飾っていますけど、練習では本場のところが見えるんです。だからここぞという選手が見つかった時には、地方でも学校まで足を運んでいます。そのほかにも長年の関係の中で信頼している高校の先生がいますから、そういう先生から推薦を頂いた場合には、試合を見せてもらってOKを出す場合もあります。

■レベルアップは順調に進んでいますか？

監督になって9年目ですが、最初のイメージはもっと早く上がれるかなと思っていましたけど、実際にやってみると確りが甘くないですね。でも、みんなががんばってくれているお陰で、ここまで全国大会のシード権を落としていないことがありがたいです。1度落としてしまうとなかなか上がれなくなってしまうから。それもあって少しずつですけど今のところまで上がって来れています。

剣道は自分の重しみたいなもの、剣道をやっていないと自分がフワフワしてきます。

■今も道場に通われているとお聞きしていますが、

今も道場へは通っています。そうしないと学生の剣道だけになってしまいます。それ以外の剣道の見方、考え方も自分の剣道には必要ですし、それが学生を指導する

上でも役に立つと思います。違いを簡単に言いますと、学生は若いですからスピード、勢いが優先されますが、それ以外は学生ほど体が動きませんが、一本に集中してやる感じですね。試合としては学生の方が断然面白いですけどね。

■中里監督にとっての剣道とはなんですか？

剣道は自分の重しみたいなもの、剣道をやっていると自分がフワフワしてしまったり、剣道をやっているから行動にも制御する部分があると思います。私が剣道を始めたのは15歳ですね。周りから比べると遅いんですけど、高校時代に監督から技術面も精神面も色々指導を受けましたし、部内で先輩たちの上下関係も身に着きました。大学でも同じですね。今でも先輩にお世話になって指導を受けることがあります。剣

道は死ぬまで到達しませんね。私の師匠の大塚師範には週1回ここに指導に来てもらっていますけど、その大塚師範に指導を受けて、自分の足りない部分は的確なアドバイスを受けています。

■剣道が強くなるための秘訣はなんですか？

重心の移動をスムーズに出来るかどうか、それが出来る選手は強いですね。でも一番大事なことはやる気ですね。意欲を持って目標を持って気を抜かずに、一生懸命やることです。これだけ部員がいても選手になるのは7人しかいませんから、選手になれるのは7人しかいませんから、選手になる、全日本に出るという強い気持ちのない選手はきついです。今はその実力がなくても、目標を持ってそれに向かって努力すればやはり通ってきます。

試合に向けて選手になるための心身を調整していくことが出来るかどうかを試しているんです。

■夏のオフ明けに部内トーナメントを行って、代表メンバーを決めているとお聞きしていますが？

例年、7月から8月のテスト期間中をオフにして、オフが明けた直後に2日間かけて、全員が参加して部内トーナメントをして、そこで秋の団体戦に向けて選手を決めます。1ヶ月近くオフにする理由のひとつには、その期間に授業に真剣に出てテストを受けてもらうという理由があります。それからもうひとつ、1ヶ月間のオフの間自分を自分でコントロールして、試合に向けて選手になるための心身を調整していくことが出来るかどうかを試しているんです。



部内トーナメント

8月8日・9日

帝京大学剣道部では、前期試験に合わせて毎年7月初旬から8月初旬までおよそ1ヶ月の長期オフをとる。試験期間が終わりそのオフが明けた初日に部内トーナメントを行い、秋季の団体戦のメンバーを決める。長いオフが明けたその日の真剣勝負。自主性を重んじる中里監督の指導の真骨頂がここにある。



部内トーナメントを勝ち抜いた選手たち



写真左から杉山実紅(4年)、佐藤真奈美(4年)、近藤浩貴(4年)、尾川将(2年)



■自主性を重んじる指導ですね？

格好よく言えば自主性ですが、やはり体と体をぶつけて戦う競技ですから自分から意欲を持って勝つという意識がないと対等の勝負にならないんです。試合の時だけでなくそれ以外の時も目標を持って取り組むことが大切です。大学の剣道がたった4年間しかない中でどれだけ意識を持って、目標を持ってやっていけるか、それを大事にしています。それにプラス運があった時に勝てるんだと思います。今年は練習内容を変えて、試合練習を多くしているんです。試合を覚えていく、同じ学年で張り合う、上の学年と張り合うということ、意識付けをしたいと考えています。その実践形式の中でどれだけ思い切り自分を出せるかです。たくさん部員が見ている中で思い切りやって、やられちゃったかどうかという気持ちがあると思っんです。仲間が注目している中で勝たなくてはいけないというのは、対外試合とは違った厳しさがあります。そういうものを植え付けていこうと思っています。

クラブとしてはもう少し学生スポーツというものを確立させたいと思っています。

■女子は、今年は11名の部員がいて、活動も活発になっているようですがいかがですか？

女子は、まだ結果には結びついていませんが、私が見る限り意欲は出てきていると思います。たとえば髪の毛を女の子は染めたりしますが、そういう女の子が実際にいて、本気で剣道をやりたいなら止めなさいと言ったら、次の日入浴と変えてきたんです。これなら大丈夫だと思いましたが、実は女子が全日本に出ないのはここ数年だけなんです。今の女子の様子を見

ていると、今の状態ががんばったら全日本に行けるんじゃないか、というところに来ていると思います。もちろん結果は運もあるけど、それでも狙えるだけのところまで来ています。あとは彼女たちが自分の生活をどれだけ剣道に向けられるかにかかっています。一生懸命やったら行けると思うし、今は彼女たちも一生懸命やっています。

■今後の目標を教えてください。

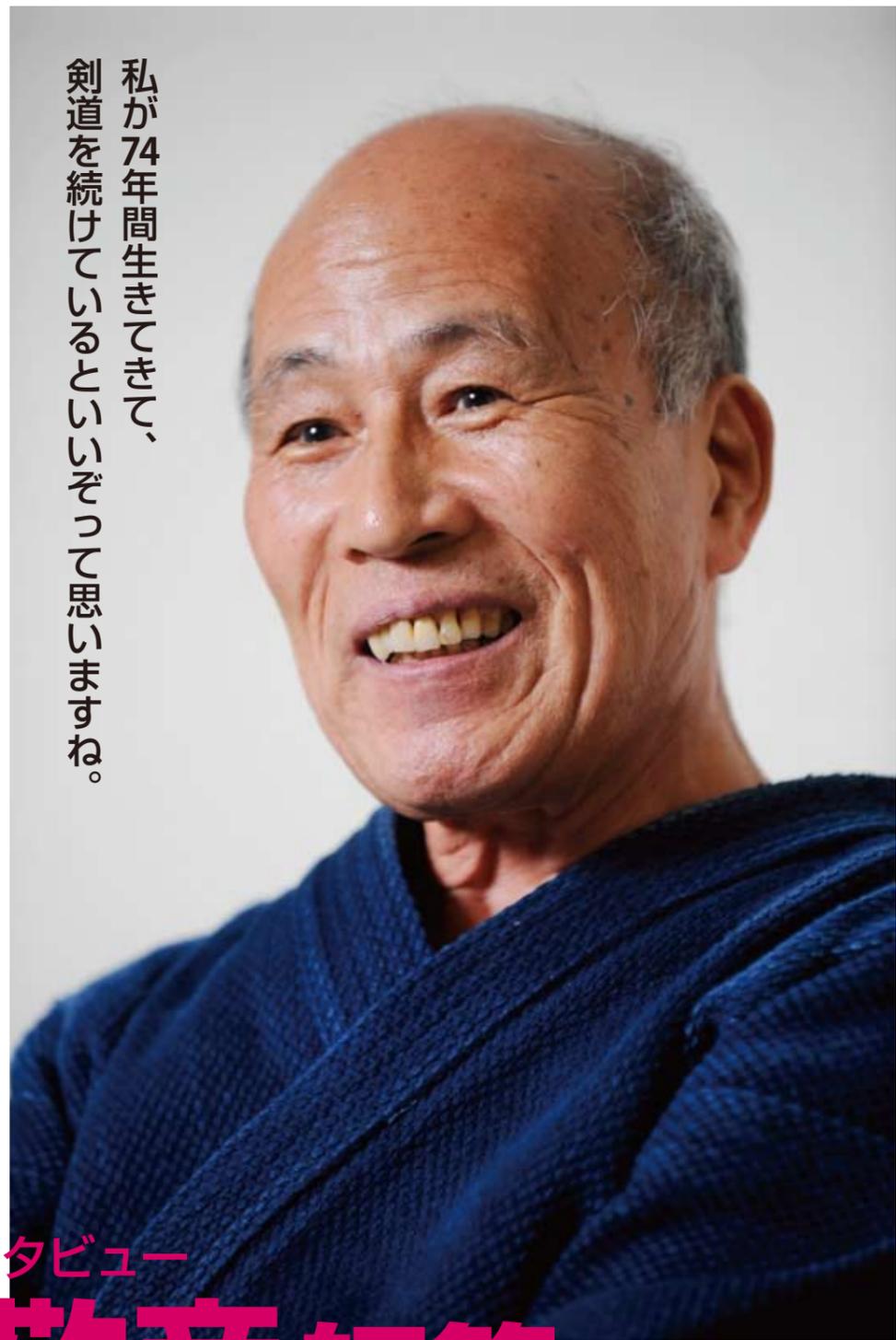
試合の方では、全日本でベスト4になんとしても入りたい。入ってもおかしくないんじゃないかと思っています。そのために甘い部分をそぎ落とすつもりです。その前の関東は今までベスト16までにしか

入ったことがないので、なんとかベスト8に入りたいですね。全日本は1度ベスト8に入っていますから、ベスト4が目標になります。そんなに遠いことだとは思っていません。クラブとしてはもう少し学生スポーツというものを確立させたいと思っています。学生のスポーツですから、もっと授業を真剣に聞いて自分の専門とするものを身に付けてもらいたい。剣道にもっと真剣に取り組んで外に出て行っても剣道の指導者として認められる。帝京大学の学生として胸を張って出て行ける。一般的なことも答えられて、受け答えもしっかりしている。そのような学生になってもらいたいと思っています。



他のクラブへのメッセージ

私の授業では、強化クラブの学生に「クラブ毎の境目はない。強化クラブはみんなひとつだ」と言っています。協力し合って、応援して、ライバル心を持ってがんばっていき。強化クラブというのは、試合で勝つのももちろん、勉強でもがんばって、ほかの学生を引っ張っていくリーダーであるべきだと。



私が74年間生きてきて、
剣道を続けているといういぞって思いますね。

■私が10代の頃は、GHQの指導でしばらく剣道が禁止されていました。
■大塚師範と帝京大学剣道部とのそもそもの馴れ初めはどういう事情だったんですか？
昭和48年（1973年）だったと思いますが、当時の帝京大学剣道部は、創部して間もなく関東学生剣道連盟に入っていたかったんです。入るためには条件があっ

ひとつは指導者がいなければならぬ。もうひとつは現在加盟している3大学の推薦がなければならぬ。大学の推薦はもらえたらいいんですけど、指導者がいないというので、当時の山田という主将から頼まれたんです。当時の私はサライーマンだったので、週1回土曜日だったらいよいよと言って、師範として練習を見るようになりました。

■大塚師範が剣道を始めたきっかけは？
私が剣道を始めたのは16歳で高校1年生の終り頃です。元々私は小さい時からプロ野球の選手になりたくて、小学校から一生懸命に野球をやって、中学校も野球部で、高校でも1年生の間は野球部でがんばったんですけど、体が小さくて、これではプロ野球の選手なれないと思い始めていたところに、10歳上の兄が警察で剣道をやっていた、たまたま練習を見に行っ

れをきっかけに剣道を始めることになったんです。高校には剣道部がなかったため、町の道場で週に2、3回、それから警察の道場で稽古をしていました。高校を卒業する時に、大会で私を見た明治大学剣道部の西岡監督（当時）に誘われて明治大学に行きました。警視庁と神奈川県警からも誘われていたんですが、当時は安保闘争が激しい時だったので、警察官は危険だと親に反対されました。大学に入ってから、新人戦大会で2年連続優勝、全日本でも準優勝に貢献して、当時は明治大学の手全盛期でした。

一筋で、今年で74歳ですから50年以上剣道が続いていることになりましたね。
■世界大会にも出場されたそうですね。
その世界大会というのは正力松太郎さん（前読売新聞社長）が武道館の館長だった時代に、剣道を世界的に普及させようというので始めた大会だったんですけど、正式にその大会を始める前の年に国際大会が開かれて、その時の日本代表のメンバーに選ばれました。日本が優勝して私も全試合に勝ちました。この大会では決勝戦で台湾と対戦しました。後にこの剣道部を連れて台湾に行ったことがあるんですけど、その時に台湾の選手として対戦した方とお会いすることが出来ました。

■剣道を16歳で始めるというのは遅い方ではないですか？

私が10代の頃は、第2次世界大戦が終わって、GHQの指導でしばらく剣道が禁止されていました。ちょうど私が剣道を始めた年（1952年）にその禁止令が解除され、その年の秋によく全日本剣道連盟が結成されたんです。だから今と比べると、高校2年で剣道を始めるとは遅い方ですけど、当時はそういう状態だったので、決して遅くはなかったんです。それから剣道

4年間で剣道を止めないで、生活の中に剣道を取り入れていってほしいですね。
■師範にとって剣道の魅力はなんですか？
私は74歳ですよ。今も学生と稽古をしている。この年齢でも学生とやれるのが剣道です。剣道は力じゃない。腕力じゃないで

■剣道部の学生たちに望むことはありますか？
4年間で剣道を止めないで、生活の中に剣道を取り入れていって、一生を通して剣道が続けてほしい。いつも学生にも言っていることですが、稽古をするのは試合に勝つためだけ、剣道をやるといってことは一生の勉強をするということ、試合に勝つことは剣道の目的ではない。試合の勝ち負けを度外視して剣道の目的を達成する。人生の到達を目指すんだけど、実際にはとても到達なんて出来ないものです。でも学生の間は勝ち負けで剣道をやって、やっぱり勝った方が気持ちいい。卒業して剣道を止めたら寂しいでしょう。だから剣道部のある会社もたくさんあるので、就職活動にも剣道を生かしてやってみるといい。私が願っていることです。剣道を通して色々な人との出会いもあるし、素晴らしいです。私が74年間生きてきて、剣道が続いているといぞって思いますね。それから、せっかく帝京大学に来て剣道をやるわけだから、やる以上は学生時代にいい思い出を残してもらいたいですね。出来ることならみんな大会でもいいから優勝、準優勝、3位を狙ってもらいたいよ。



す。竹刀を媒体にしてやり取りするわけだから力も関係ない。それに気道（呼吸の仕方）だね。50年以上もやっているから周りがよく見えるしね。それから、例えば普通は初対面の人だと敬語を使うじゃないですか？でも剣道は初対面でも、剣道をやった汗を流して風呂でも一緒に入ったら「おい！」「お前！」の10年来的ような仲になれるんです。こういうことは普通のスポーツには無いと思うね。初対面から仲間意識があるのは、こういう武道の特徴じゃないかな。だから私はこの年になっても毎年賀状が増えてしまってますよ（笑）。



スペシャルインタビュー 大塚敬彦師範

帝京大学剣道部を草創期より師範として指導し、その後中里現監督の前任としてこのクラブを率いた大塚敬彦師範。今年74歳の師範は剣道界最高位の範士八段という称号段位を持つ日本の剣道に名だたる剣士のひとりだ。初めて竹刀を手にしてからまもなく60年。生涯現役を貫く大塚師範の生き方そのものが、剣道部員にとってお手本でもある。中里監督の師匠であり、現在も剣道部の指導を行う大塚師範に話を聞いた。



女子主将

杉山実紅 (4年)



女子主将として11人の女子部員を率いる杉山実紅。時には厳しい言葉で部員を叱咤する彼女は、剣道とともに国語を愛し、国語の先生を目指す。そんな杉山に剣道への想い、主将としての役割、将来像などを聞いた。

■日本語と剣道の間に共通した魅力を感じています。
■教育実習に行ったそうですね？どうでしたか？
■大学の専攻は？



私には日本の言葉にこだわりがあって、日本の伝統文化として、変えてはいけないもの、国際化の中で大切なものという点で、日本語と剣道の間に共通した魅力を感じています。

他のクラブへのメッセージ

スポーツをがんばっている人は、輝いているし充実した生活を送っていると思うから、帝京大学の看板としてがんばっていきましょう。



国語と剣道と茶道と三本柱でがんばっていきます。

■実際に入ってみていかがでしたか？
■団体の戦は5人なのに、4人しか女子部員いない時期もあって、高校まではレギュラーになるために練習していたので、当たり前のように試合に出れちゃうことに葛藤がありました。それで大学は自分で目標を持ってやらないと駄目なんだと思いましたが、でも正直それに気づいて意識するようになったのは3年生になってからで、今振り返ると、2年生の時環境に甘えていたんだと思います。今は女子部員が11人になって、昨年までは女子が甘えていることを監督は分かっていたと思うんですけど、今年からは認めてく

■監督から言われたことは厳しいけど、何でも、全てほかの部員に伝えるようにしています。
■帝京大学に来た理由は？
■文学部で国語の先生になれるということ、剣道部は女子の人数は少ないけど、男子がしっかりしていて女子も一緒に練習しているというので可能性があるし、中里監督が、お前が来るなら女子も全日本(女子学生剣道優勝大会)を目指してしっかりやってくれ、と言ってくれたので、帝京に行くことにしました。

■その中で女子主将としての役割は？
私はすごく言う方で、先輩としてある程度ははっきり言うことは言っています。それに監督と部員を繋ぐ存在でいたいと思うので、監督から言われたことは厳しいけど、何でも、全てほかの部員に伝えるようにしています。私は嫌われてもいいやという気持ちでいるんですけど、それでもみんな付いて来てくれるので、このチームで全日本(女子学生剣道優勝大会)に行きたいと思っています。

■人に言われたことを素直に聞く心を持っている人が強くなると思います。
■剣道で強くなるためにはどうしたらいいと思いますか？
私の場合は人に言われたことを素直に聞く心を持っている人が強くなると思います。見ている人は冷静に見ることが出来るので、私の場合は母親がいつも試合を見に来てくれて、教えてくれるんですけど、相手は誰でもいいので言ってくる人がいて、その話を素直に聞くことが出来るので、強くなれると思います。それは剣道以外でも同じだと思います。

■将来の目標を聞かせてください。
将来は国語の先生になりたいので、国語の先生になった時に、生徒から「先生、剣道四段持っているんだって」「って言われて」「先生、全日本に出ているんだって」言われたいですね(笑)。茶道もやっています。国語と剣道と茶道と三本柱でがんばっていきます。

主将

近藤浩貴 (4年)



今シーズン、帝京大学剣道部61人をまとめ率いる主将。その重責を担うのが近藤浩貴だ。自分自身の鍛錬とチームの向上。その間で葛藤しながら仲間とともに全日本大会を目指す、近藤に話を聞いた。

■主将になったのは？
■怒るタイミングは怒った方がいいと言われています。
■主将として苦労するところは？



ですね。色々な意見もあるんですけど、色んな意見があるんですけど、それがいい部員がいるところもあるんで、それから見ると案外かもしれません。やはり大変です。

他のクラブへのメッセージ

(各部のキャプテンに)
全体を見ながら自分も向上しないといけないから大変かもしれないけど、がんばっていきましょう。

キャプテンになって、みんなをドンドン上げつつ、自分も上げることが必要ですから難しいですね。

■帝京大学に入ったきっかけは？
■帝京大学は高校の時の先輩がいたので来ました。入った時は厳しかったですね。高校に比べれば無いようなものですけど、やはり上下関係はあるし、大変でした。でも中里監督は自分たちのことを分かってくれる人です。練習の方法とかも僕たちの意見を聞きながら、考えてくれています。実際に僕はこういう練習を考えているんですけど伝えると、監督の考えと合わせてそれに沿った練習をしていくんです。だからみんなで話し合ったり、提案しています。そういう時はキャプテンとして先生と話をする役割を担っています。
■汗をかいたときこそ強いですね。練習はやらないと強くなれないです。
■剣道はどうやって強くなると思いますか？
■みんなに「剣道はどやったら強くなるか？」と聞かれるんです。具体的な方法もいくつかはあると思いますけど、まずは意

■中里監督は自分たちのことを分かってくれる人です。
■剣道を始めたのはいつですか？
■剣道を始めたのは5歳の時です。両親が剣道をやっていて、父が道場の先生だったので、自然に道場に通っていました。中学校まで道場で、高校は剣道の推薦で行きました。全寮制だったので一緒に剣道をしている仲間との寮生活が楽しかったです。練習が厳しくて精神的にも鍛えられました。毎日毎日、監督から厳しく指導されたし、先輩からも厳しく言われました。そうした成果もあって、3年になって日本一にもなれました。でも厳しかったので、正直剣道は楽しいと思えたことはなかったですね。



■現在の目標を聞かせて下さい。
■目標は全日本(学生剣道優勝大会)で優勝です。今はまだ足りないかもしれないですけど、もっとみんなで練習して、結果を出せるようにがんばります。そして剣道はもっと続けていきたいです。
■近藤君自身がここまで剣道を続けてきたモチベーションは？
■高校生にあがって、仲間のこいつがやっているなら、おれがやってみようみたいな気持ちで、そのお陰でどんどん強くなってきました。今はキャプテンになって、みんなをドンドン上げつつ、自分も上げることが必要ですから難しいですね。
■識次第だと思っただけです。強くなるという気持ちです。その気持ちがないと身につくとはかりですから、自分からはやる気はなかなか思わないし、強くなりたいですね。もちろんセンスも必要ですけど、汗をかいたときこそ強いと思います。練習はやらないと強くなれないです。



インタビュー

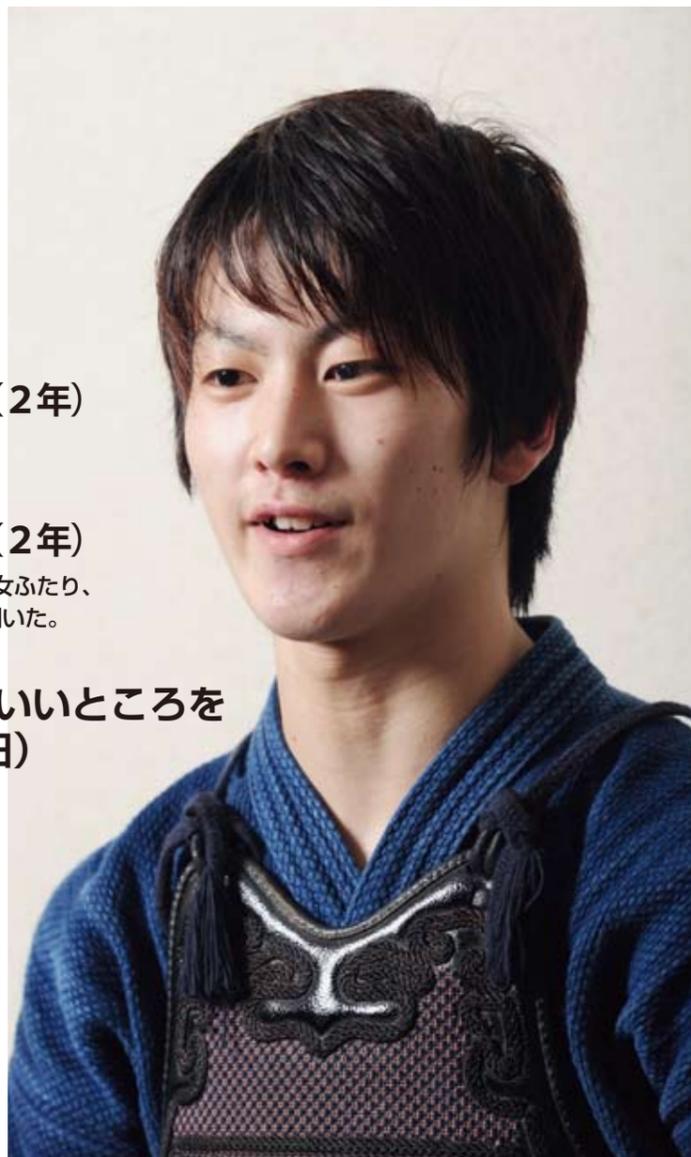
本田一志 竹内真李

(2年)

(2年)

帝京大学剣道部で、近い将来に活躍を期待されている2年生男女ふたり、本田一志と竹内真李に、ここまでの歩み、剣道への想いなどを聞いた。

これからのがんばり次第で全国でもいいところを狙えるようになると思います(本田)



■どんなきっかけで剣道を始めたんですか？

竹内「小学校1年の頃から、父が剣道を地元の道場で教えていて、先に姉がやっていて、その流れでいつの間にか当たり前のようになり始めました。子供の頃は、練習が楽しくない時もたくさんあって、行きたくないなあと思うことがありました」

本田「自分も小学校1年からで、友達もやっていて面白そうだったのでやってみました。最初からとても楽しかったです。それですつとやってきました。自分は剣道一筋です」

■いつ頃から本格的に剣道で上を目指すようになったんですか？

竹内「中学の頃から上を目指していたんですけど、全国を意識して剣道をやろうになったのは高校に入ってからです。私は長野県出身なんですけど、長野県は全国的に見ると剣道のレベルが下の方なんです。それでも、どうせ同じ剣道をするなら上を目指してやっていると、やりたいたいと思って、長野の中では上の方の高校に行きました」

本田「中学に行く時に、剣道を学ぶために私立の中学校に行きました。小学校の時に自分がある地域が、熊本の中で強い地域ではなかったんで、上を知ろうと思って思い切って選んでみました。中学高校が繋がっているところ、その中で6年間やってきたことは自分の中ではプラスになっています」



インタビュー

猪瀬康宏

(3年)

現在全国トップへの階段をゆっくりとしかも確実に上り続ける帝京大学剣道部。その階段を上る中で3年生の役割は大切な。その3年生を代表して、高校時代は開花させることが出来なかった能力を、中里監督の指導により開花させ、帝京大学剣道部の主力選手となった猪瀬康宏に話を聞いた。

中里監督の指導には
すごく愛情を感じます。

■最近の猪瀬君の剣道の状態はどうですか？

高校の時と比べると肩の力が抜けて、試合でも力が出せるようになりました。今はそれが結果に結びつくようになって来ていると思います。

■力を抜けた理由は何だと思えますか？

中里監督の指導のおかげだと思います。監督の指導にはすごく愛情を感じます。僕の剣道をじっくりと見られて、時間をかけて僕が納得するように指導をしてくれていました。高校までは力んじやって結果を出せなかったのが、今は試合でも練習でもリラックスして、力を出せるようになりました。

肩の力が抜けて試合でも力が出せるようになりました。



■猪瀬君から見て剣道の魅力は何ですか？

試合に出て勝った瞬間が楽しいですね。練習はともかくですけど、勝ちたい、勝った瞬間のあの気持ちを感じたいのだからです。

■中里監督の指導は自主性を重んじている指導ですが、猪瀬君にとってどうですか？

とても大変です。監督の期待に応えたいと思っているんですけど、自分で意識を保っている時と保てていない時があります。だからチーム内で声をかけ合ってモチベーションを上げています。

■最後に猪瀬君の夢を教えてください。

目標は、このまま剣道続けて警察官になることです。大学を卒業して剣道続けるために3年のうちに結果を出しておきたいと思っています。

■では猪瀬君の目標を教えてください。

高校時代は全国大会に行けなかったのが、大学では全日本(学生剣道優勝大会)に行けて試合に出場して、勝ちたいと思っています。

僕の学年は仲がいいので、声をかけてあつて気持ちを高めるようにしています。

■猪瀬君は剣道が強くなる秘訣は何だと思えますか？

中里監督の言うことをしっかりと聞いて、言われたことをちゃんと取り入れて、あとはひたすら繰り返し練習することだと思います。

■目標は「このまま剣道続けて警察官になること」です。





インタビュー 赤星佑幸 (1年)

高校時代に能力を生かせず、活躍の機会に恵まれなかった選手を発掘し、時間をかけてゆっくりと可能性を伸ばして自信を持たせる。それが中里監督の指導の神髄だ。その中里監督の指導の成果と言える選手のひとりが1年の赤星佑幸だ。その赤星に話を聞いた。

帝京大学に来てからは自分自身でまだ伸びるかなと思えているし、まだまだいけると思っています。



監督や応援してくれてくれた人の期待に応えられるようにがんばります。

■今の自分の剣道の状況を自分自身で分析してください。

帝京大学は剣道のレベルも高く、ごく勉強になります。先輩も同じ学生も、高校時代の有名校から実績があって本当に強い人がたくさん集まっています。自分は、高校時代は選手層が厚い高校に行っていたので、あまり試合に出してもらっていませんでした。ただここに来てからは自分自身でまだ伸びるかなと思えているし、まだまだいけると思っています。

■大学生活はどうですか？

熊本から来ているので、高校時代は寮生活だったんですけど、今は大学の近くにひとり暮らしをしています。ひとり暮らしは寮生活よりもっと厳しく大変です。食事は自分で作っています。得意料理は今のところカレーくらいですけど、友達が食べに来てくれておいしいって言ってくれます。だから結構よく作っています。

ともかく練習しないと強くなれないのでがんばって練習します。

■剣道を始めたきっかけは？

小学校3年の時、近所の年上の人がやっていて、格好いなあと思っただけで始めました。小学校は道場、中学、高校と学校で習いました。私立で中学と高校が一緒に練習だったので、中学1年の時にここで剣道をやるしかないと思いました。すごく面白かったです。やはり試合に出るからには相手に負けたくないんですけど、自分より強い選手はたくさんいるし、それでも、がんばればその人たちにだって勝てるかもしれないことが面白いです。

監督は選手の誰よりも、勝ちたいという気持ちの強い人だと思います。

■中里監督はどんな監督ですか？

本田「中里監督は剣道に対しても何に対してもすごくまじめな人で、選手の誰よりも勝ちたいという気持ちの強い人だと思います。僕たちもそこを負けたくないように剣道に対して熱い気持ちを持ちたいと思っています。」
竹内「中里監督は、高校の時の監督とは違って、普段はそんなに厳しい指導はないんですけど、いつも私たちがしっかりと見ていて、必要な時は厳しく指導してくれている。」

し、何かしら声をかけてくれます。監督の期待に応えたいです。」

■ふたりの目標を教えてください。

竹内「女子の部員は今まで本場に人数が少なく、先輩たちも4人とかで試合に出たりしていたと思うので、今はもっと人数が揃ってきたので、全日本とかを狙える状態になったと思います。みんなでがんばって全日本に出たいです。」
本田「生懸命練習をして、全日本学生剣道優勝大会で上位に入賞できるようにがんばりたいと思います。」



仲間と一緒に練習をがんばって目標に向かって行けると思います。

■ずっと剣道を続けてきて、大学でも剣道を続けている原動力は？

竹内「将来剣道を教えたいという目標があったり、教員を目指していたんですけど、それに加えて、高校時代の先生から、地元で指導者が足りないで指導者になって戻ってきてほしいと言われたので、それが理由です。」

■「女子はレベルで言ったらまだまだだと思っただけで、今の代になってから、杉山キャプテンをはじめみんなで全日本(女子学生剣道優勝大会)を狙って必死になってやっているの、チームの雰囲気はとていいと思います。」
本田「チームは僕から見ても今の時点ですごく伸びている、これからのがんばり次第で全日本でもいいところを狙えるようになると思います。自分もみんなと一緒にがんばっています。」

全日本を目指して必死になってやっているのでチームの雰囲気はとていいと思います(竹内)





帝京大学剣道部

Teikyo University KENDO Team 2009



女子グループインタビュー

アスリートの肖像 VI (2年)

川上光子 (2年)

熊倉由紀 (2年)

坂本怜美 (2年)

藤井実季 (1年)

男子と同様厳しい練習を重ねる女子部員。近年は団体で出場に必要な5名を切っていた時期もあったが、今年は11名になってその活動も活発になり、念願だった全日本女子学生剣道優勝大会出場も視野に入ってきた。活躍が期待される4人の女子部員に話を聞いた。

■ 剣道を始めたきっかけを教えてください。
 川上「小学校6年くらいに、母親の勧めで警察の道場に行ったのがきっかけです。なんかやろうかと思っていた時期だったんです」
 藤井「お姉ちゃんが先に剣道始めていて、小学校5年くらいに、自分もやろうかなと思って始めました」
 熊倉「お兄ちゃんがやっていて、その影響で小学校1年の時から始めました」
 坂本「私もお兄ちゃんがやっていて、中学1年から始めました」

2009年女子部員全員集合
 笑顔を力に全日本への挑戦!



OBスペシャルインタビュー
滝崎敏之 (大塚家具) 2003年度卒業

帝京大学剣道部は、1966年の創部以来数多くの剣士を輩出し、警察、教員、実業団をはじめ各方面で活躍している。そうしたOBの中で、2003年度に卒業し、現在大塚家具剣道部のキャプテンとして活躍する滝沢敏之さんに話を聞いた。

剣道部の環境を変えていった時代だったと思います。
 ■滝崎さんが在学の際の剣道部はどんな状況でしたか？
 あの頃の剣道部はまだ上位に入れないチームで、剣道をするための環境をまだまだ整備している段階でした。私の年代

やひとつ上の先輩と一緒に、稽古内容を改善したり、練習試合の相手を探したり、環境を変えていた時代だったと思います。当時の私は私が2年生の時から中里監督に代わられました。
 ■帝京大学に入ったのはなぜですか？
 大学でも剣道を続けたかったんですけ

ど、高校で自立したタイトルとか実績が無かったので、誘ってくれる大学が無かったです。私の兄が剣道をやっていて大塚師範と同じ明治大学だったので、その勧めで帝京大学のセレクションを受けて、帝京に来ることになりました。

自分の中で一番濃い時間だったように思えます。
 ■剣道を始めたのはいつですか？
 小学校2年生の時からです。兄も剣道をやっていて影響で気がついたらやっていてた感じですが。小学校の時は道場でやっていましたが、とても厳しい道場だったので行

くのが嫌になることもよくありました。中学も剣道部はなかったので道場で練習して、高校から部活でやりました。
 ■帝京大学での4年間はどんな日々でしたか？
 一番楽しい時間で、剣道のことだけを考えればいい時間でした。本来は勉強も

■兄弟と家族の影響で始める人が多いみたいですが、そういうものですか？
 熊倉「自分から始めようとは思わないよね。女の子は」
 藤井「たぶん」

■その頃は練習は大変でしたか？
 坂本「見ると楽しそうに見えていてやっちゃったけど、やっているのが厳しいものでした」
 川上「最初はそんなにきつくなかったけど、段々きつくなっていきました」
 熊倉「中学校は学校のクラブだったんですけど、きつかったです」

■きつてもこれまで続けてこれたのはなぜですか？
 藤井「辞められなかった(笑)。ほかにやることなかったからだと思います」

川上「中学の時は剣道部じゃなくて吹奏楽部で、部活が終わってから道場に通ってました。でも高校には吹奏楽部が無かったから剣道をやりました」



Kawakami Mitsuko

熊倉「私は剣道をするために高校を選んだんです」
 藤井「私も」
 坂本「私もそのころでした」
 川上「結局私も」

■剣道の楽しいところは？
 川上「勝てれば嬉しいけど…」
 熊倉「団体と個人があって、それによって

また変わりますが、一番は勝つことです」
 坂本「私も勝てれば、勝つ楽しさがあります」



Sakamoto Remi

藤井「剣道ってすごく小さい子から大人までやっていて、長い付き合いになるし、大学まで剣道を続けていると試合とか練習会とかで会った人と知り合いになって、それが楽しみです」

■帝京に入ってどうですか？
 藤井「高校が厳し過ぎたのに比べて、今はのびのびと剣道が出来ている気がします」
 熊倉「大学に入って、剣道が楽しくなったよね」
 川上「楽しかった」
 坂本「確かに」
 熊倉「今は自分のペースで出来るからいいね」

■ところで胸着とか面は暑くないですか？
 熊倉「暑い」
 川上「暑いし重い」
 坂本「暑くて臭いです！自分でファブリーズとかして管理しないとすぐにカビがはえたりとかしちゃいます」

■オフの時は何をしていますか？
 熊倉「長期のオフの時は、田舎に帰ります」
 川上「同年代とかは、結構一緒に遊ぶんで」
 坂本「熊倉の家に泊まって遊び行きます」
 川上「出かける時は新宿とか原宿とか」

■目標を聞かせてください。
 川上「みんなで全日本を目指したいです。自分も剣士として勝ちたいし、もし自分が試合に出れなかったとしてもクラブとしてもみんなで支え合いながら、協力して強くなりたいです」
 熊倉「私も全日本に出たいですね。個人も団体も出れるようになりたいです」

坂本「普段は多摩センター(キャンパスの最寄り駅)とか近場ですね」
 藤井「私たち1年、多摩センターとかですね」

■監督はどんな人ですか？
 藤井「どうしても高校と比べちゃうんですけど、高校の時は毎日のように細かいことを言われていたので、それに比べると大学ってそれほどは無く、こんなもんなんだって思いました」
 熊倉「話しやすいですよ。高校の時の先生は怖かったんで、しゃべりかけられてもハイ、ハイって返事するのが精一杯だったんですけど、中里先生は『どうだった』って聞いてきてくれるので、自分で自分の思ったことを言えるんです」
 川上「基本何も言われなくて、自分たちで考えてやれという感じなので、自分たちでやるようにしています」
 坂本「大学は高校で学んできたことの応用なんで、自分たちで考えて、自分たちで整理してやっています」



Kumakura Yuki

坂本「自分も全日本に出れるようにがんばります」
 藤井「まず選手に入ることで、それからみんな全日本に行きたいです」



Fujii Miki



中学の時は吹奏楽部で、部活が終わってから道場に通ってました(川上)
 今はのびのびと剣道が出来ている気がします(熊倉)
 剣道は勝てれば、勝つ楽しさがあります(坂本)
 剣道は長い付き合いで出会った人と知り合いになるのが楽しみです(藤井)



田中 宏季

田中 宏季 タナカ ヒロキ
法学部 4年《主務》

出身校：岐阜東高
出身地：岐阜
身長：167cm
血液型：A

- ① カクエイ
- ② 試合で盛り上がった瞬間
- ③ 追い込みの小手面
- ④ 前向きな人
- ⑤ 四段に合格して井之上になめられないようにする！！
- ⑥ 大臣を目指す！！

帝京大学 剣道部

保存版

全選手名鑑

- ① ニックネーム ② 部活で楽しいこと ③ 部活で辛いこと
- ④ 好きな異性のタイプ ⑤ 今年の目標 ⑥ 将来の夢



健太

鈴木 健太 スズキケンタ
経済学部 4年

出身校：埼玉栄高
出身地：埼玉
身長：173cm
血液型：O

- ① ケン
- ② 試合に勝った時
- ③ 思う様に体が動かない時
- ④ 笑顔が素敵な人
- ⑤ レギュラーになる
- ⑥ 普通の幸せ



近藤 浩貴

近藤 浩貴 コンドウ ヒロキ
経済学部 4年《主将》

出身校：帝京第五高
出身地：愛媛
身長：161cm
血液型：B

- ① ヒロ
- ② 誰かが元気過ぎる時
- ③ 誰かが元気がない時
- ④ コーモアがある人
- ⑤ 悔いを残さないこと
- ⑥ 子供にぬかされないこと



野村 亮介

野村 亮介 ノムラ リョウスケ
文学部 4年

出身校：埼玉栄高
出身地：埼玉
身長：166cm
血液型：B

- ① ムラ
- ② 部員が仲良いとこ
- ③ 自分の剣道が出来なかったとき
- ④ 香理奈
- ⑤ チームで関東ベスト4を目指す
- ⑥ 立派な大人になる



松永 昌也

松永 昌也 マツナガ マサヤ
経済学部 4年《副主将》

出身校：九州学院高
出身地：熊本
身長：172cm
血液型：B

- ① マツ・マサ
- ② 休憩時間
- ③ 井之上が弱すぎること
- ④ 尊敬できる人間
- ⑤ 田中宏季に2本勝ちすること
- ⑥ 頭がハゲないこと！！



六本木 崇

六本木 崇 ロクボンギ タカシ
法学部 4年

出身校：文星芸術大学付属高
出身地：栃木
身長：174cm
血液型：O

- ① ボンギ
- ② 仲間との交流
- ③ ……？
- ④ 楽しい人
- ⑤ いっぱい歩くこと
- ⑥ 長生きすること



川崎 頌太

川崎 頌太 カワサキ ショウタ
経済学部 4年《副主将》

出身校：土浦日本大学高
出身地：茨城
身長：178cm
血液型：B

- ① 頌
- ② 素振り
- ③ 自分との戦い
- ④ 安室
- ⑤ 精神力を強くする
- ⑥ Japan で優勝

一番楽しい時間で、
剣道のことだけを
考えればいい時間でした。



■今はどんなサイクルで剣道をしているんですか？

■大学を卒業して社会人で剣道が続いている理由は？
大学で結果を出せなかったことが悔しいという気持ちがあるので、だから社会人でも剣道が続けようと思えました。警察とか教員とか剣道に直接携われる仕事もあるんですけど、個人的にサラリーマンという仕事をやってみたくかったので、大塚家具に剣道で入社して、剣道をやらせてもらっています。警沢は言えないですけど、希望通りの就職が出来たと思っています。今は現役の選手としてはやれるところまではやろうと思っています。実業団は20代後半から30代前半が活躍しているので、まだ数年は出来ると思っています。でも、最近は学生時代に結果を残した選手が、警察や学校に入れなくて実業団に入ってきて、そのためにレベルも上がって、そういう選手がたくさんいるチームが強くなっています。若い選手が多くなっています。

■夢を教えてくださいませんか？
剣道であれば、将来教える立場になれるといいなと思っています。

■目標はなんですか？
今は選手としてやっているので、まずは今のチームとして勝つことですね。去年からキャプテンをやらせてもらっているんで、会社として結果を残すことに集まっています。

■大学で結果を出せなかったことが悔しい。

■大学を卒業して社会人で剣道が続いている理由は？
大学で結果を出せなかったことが悔しいという気持ちがあるので、だから社会人でも剣道が続けようと思えました。警察とか教員とか剣道に直接携われる仕事もあるんですけど、個人的にサラリーマンという仕事をやってみたくだったので、大塚家具に剣道で入社して、剣道をやらせてもらっています。警沢は言えないですけど、希望通りの就職が出来たと思っています。今は現役の選手としてはやれるところまではやろうと思っています。実業団は20代後半から30代前半が活躍しているので、まだ数年は出来ると思っています。でも、最近は学生時代に結果を残した選手が、警察や学校に入れなくて実業団に入ってきて、そのためにレベルも上がって、そういう選手がたくさんいるチームが強くなっています。若い選手が多くなっています。

■大学の時とは剣道に使える時間がかなり違いますね。大学時代は剣道一色でいられたから。

■剣道の魅力は？
剣道の魅力は奥が深いところです。剣道の世界は個人戦でも連戦する人がいなくて、それは勝ち続けるということが難しい競技だからだと思います。それから武道なので精神力が鍛えられて、生涯スポーツなので一生終わりが無い奥の深さ、そういうところが魅力ですね。



秋吉 賢治

秋吉 賢治 アキヨシケンジ
文学部 2年

出身校：平塚学園高
出身地：神奈川県
身長：168cm
血液型：A

- ① 嵐を呼ぶ男
- ② 試合で勝つとうれしいこと
- ③ 試合で負けると心底くやしい
- ④ おしとやかな人
- ⑤ 全速前進
- ⑥ 親孝行



古越 義隆

古越 義隆 フルコシヨシタカ
経済学部 3年

出身校：作久長聖高
出身地：長野
身長：175cm
血液型：AB

- ① よしぶー・ふるちゃん・よしくん
- ② 試合で勝った時
- ③ キツイ練習
- ④ 目がきれいで、気の合う子
- ⑤ レギュラーになること
- ⑥ 軽井沢で暮らす



河野 貴俊

河野 貴俊 コウノタカトシ
文学部 3年

出身校：桐蔭学園高
出身地：千葉
身長：175cm
血液型：A

- ① タカトシ・トゥエル・ウル・ラビュタ
- ② 人を竹刀でたたける事
- ③ コテがくさい事
- ④ シーター（天空の城ラビュタより）
- ⑤ 全日本ベスト4
- ⑥ 剣の達人



市原 孝浩

市原 孝浩 イチハラタカヒコ
経済学部 3年

出身校：市立船橋高
出身地：千葉
身長：167cm
血液型：B

- ① イッチー
- ② 陽平さんとちくりあう事
- ③ 仲間が減る事
- ④ 柴咲コウ・SEXYな人
- ⑤ 誘惑に負けない
- ⑥ けっこんする



池端 玄樹

池端 玄樹 イケハタノリシゲ
法学部 2年

出身校：拓殖大学第一高
出身地：東京
身長：156cm
血液型：O

- ① ノリシゲ
- ② みんないる時
- ③ あつい時
- ④ とくくない
- ⑤ 選手になること
- ⑥ まだない



丸山 晃一

丸山 晃一 マルヤマコウイチ
文学部 3年

出身校：國學院栃木高
出身地：栃木
身長：163cm
血液型：O

- ① まる・まるちゃん
- ② みんなでワイワイすること
- ③ サポーターが臭い
- ④ やさしい人
- ⑤ 1日1日を充実させる
- ⑥ 家族とのんびり楽しく暮らす



菅原 友

菅原 友 スガワラユウ
文学部 3年

出身校：花巻南高
出身地：岩手
身長：170cm
血液型：A

- ① ぶんた
- ② 人間観察
- ③ かかり稽古
- ④ 普通の人
- ⑤ レギュラーになる
- ⑥ 菅原文太になりきる



いのうえ あきひこ

井之上 昂大 イノウエアキヒコ
法学部 3年

出身校：松山高
出身地：埼玉
身長：173cm
血液型：AB

- ① ザコ
- ② 練習
- ③ 松永氏にハメられること
- ④ 性格重視
- ⑤ 幸せになること
- ⑥ 幸せになること



龍河

泉 龍河 イズミリュウガ
文学部 2年

出身校：札幌第一高
出身地：北海道
身長：172cm
血液型：A

- ① リューガ
- ② 強い先輩にかかっていって良い稽古ができた時
- ③ 自分の思うことができない時
- ④ いつも笑顔の人
- ⑤ 練習を頑張る
- ⑥ 尊敬される大人



横山 祐介

横山 祐介 ヨコヤマユウスケ
経済学部 3年

出身校：文星芸術大学附属高
出身地：栃木
身長：175cm
血液型：B

- ① よこやま
- ② なし！！
- ③ すべて
- ④ アッキーナ
- ⑤ 部活にいる
- ⑥ 馬主・プロレスラー



丹野 雄基

丹野 雄基 タンノユウキ
医療技術学部 3年

出身校：網走南ヶ丘高
出身地：北海道
身長：175cm
血液型：O

- ① タンノ
- ② 色々な都道府県から来た人と剣道が出来ること
- ③ 掛稽古
- ④ 北川景子
- ⑤ 四段合格
- ⑥ 救急救命士



猪瀬 康宏

猪瀬 康宏 イノセヤスヒロ
法学部 3年

出身校：文星芸術大学附属高
出身地：栃木
身長：179cm
血液型：O

- ① イノセ
- ② みんなと剣道が出来ること
- ③ 練習
- ④ 南明奈
- ⑤ 四段合格
- ⑥ 警察官



遠藤 章広

遠藤 章広 エンドウアキヒコ
医療技術学部 2年

出身校：滋賀県立草津東高
出身地：滋賀県
身長：181cm
血液型：O

- ① エンドー
- ② 飲み
- ③ 練習の内容が大変なとき
- ④ 北川景子
- ⑤ 四段を取る
- ⑥ 安定した職につく



翔

吉村 翔 ヨシムラショウ
法学部 3年

出身校：埼玉県立大宮東高
出身地：埼玉
身長：165cm
血液型：A

- ① しょっち
- ② 追い込み
- ③ 休憩があること
- ④ ゴツゴツしている子
- ⑤ 選手になって試合に勝つ
- ⑥ 警察官



長谷川 浩一

長谷川 浩一 ハセガワコウイチ
経済学部 3年

出身校：九州学院高
出身地：熊本
身長：173cm
血液型：A

- ① 長谷ピョン！！
- ② ぐもんだ
- ③ 一発芸がうけなかった時
- ④ マツコデラックス
- ⑤ マツコデラックスと友達になる
- ⑥ 後輩になめられない



ヨウヘイ

角野 陽平 カドノヨウヘイ
法学部 3年

出身校：岡山県美作高
出身地：岡山
身長：182cm
血液型：A

- ① 卓造
- ② 小手打ち
- ③ 胴打ち
- ④ 木村カエラ
- ⑤ 寛明に勝つ
- ⑥ 河野関に勝つ



有祐

吉原 有祐 ヨシハラユウスケ
法学部 2年

出身校：帝京長岡高
出身地：新潟
身長：174cm
血液型：A

- ① ユウスケ
- ② 仲間との会話
- ③ かかり稽古
- ④ お姉さん（年上）
- ⑤ 上段を更の上達させる
- ⑥ 警察官



中島 新

中島 新 ナカジマアラタ
経済学部 2年

出身校：文星芸術大学附属高
出身地：栃木
身長：165cm
血液型：O

- ① ナカジ
- ② 皆強いので稽古が楽しいです
- ③ とくにない
- ④ sexyな女性
- ⑤ 全日本優勝
- ⑥ 一生剣道をしていたいと思います

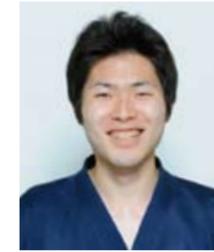


熊谷 惇

熊谷 惇 クマガイアツシ
医療技術学部 2年

出身校：水戸葵陵高
出身地：茨城
身長：175cm
血液型：B

- ① クマ
- ② 努力が結果に表れた時
- ③ 自分が弱い
- ④ 努力してる人
- ⑤ 自分に覚悟を持つ
- ⑥ 消防士で日本一の剣士



追川 之長

追川 之長 オイカワユキナガ
医療技術学部 2年

出身校：市立川口高
出身地：埼玉
身長：175cm
血液型：B

- ① おいちゃん
- ② 地稽古
- ③ ほぼ全部
- ④ 心が広い人
- ⑤ 一日一日を大切に
- ⑥ 警察官



あかほし ゆうこう

赤星 祐幸 アカホシユウコウ
経済学部 1年

出身校：九州学院高
出身地：熊本
身長：170cm
血液型：O

- ① 赤星・祐幸
- ② 先輩達との稽古
- ③ 調子が悪いとき
- ④ やさしい人の中のやさしい人
- ⑤ レギュラーを取る
- ⑥ 全国大会優勝・教師



本田 一志

本田 一志 ホンダカズシ
経済学部 2年

出身校：九州学院高
出身地：熊本
身長：172cm
血液型：A

- ① カズシ
- ② 練習後の一時
- ③ 思い通りにいかないこと
- ④ 好きになった人
- ⑤ 日本一
- ⑥ 子どもに夢を与えることができる大人



白木 健

白木 健 シラキツヨシ
医療技術学部 2年

出身校：九州学院高
出身地：熊本
身長：168cm
血液型：O

- ① ツヨシ
- ② 試合に勝つ事
- ③ 練習がキツイ事
- ④ 自分の事を分かってくれる人
- ⑤ 日本一
- ⑥ 目標にされる人間になる事



大野 偉生

大野 偉生 オオノタケオ
経済学部 2年

出身校：文星芸術大学附属高
出身地：栃木
身長：163cm
血液型：A

- ① タケオ
- ② 試合を勝つこと
- ③ ケガ
- ④ やさしい人
- ⑤ 練習頑張る
- ⑥ 尊敬される大人



阿久津 信介

阿久津 信介 アクツシンスケ
医療技術学部 1年

出身校：文星芸術大学附属高
出身地：栃木
身長：163cm
血液型：A

- ① しんすけ
- ② みんなとのからみ
- ③ ケガしたとき
- ④ 戸田 恵梨香
- ⑤ レギュラー
- ⑥ いい所に就職したいなあ



町田 智哉

町田 智哉 マチダトモヤ
経済学部 2年

出身校：東陵高
出身地：栃木
身長：171cm
血液型：A

- ① マッチー
- ② みんな仲良いこと
- ③ かかり稽古
- ④ おっとりした人
- ⑤ 練習をしっかりとやる
- ⑥ 安定した職につく



杉谷 仁史

杉谷 仁史 ソヤマヒトシ
法学部 2年

出身校：岩瀬日本大学高
出身地：茨城
身長：178cm
血液型：A

- ① そもくん
- ② 友達と一緒にいるとき
- ③ つらいことなどありません
- ④ 博打ができるギャル
- ⑤ 貯金
- ⑥ 茨城県で農家もしくはクロネコヤマト



尾川 将

尾川 将 オガワショウ
経済学部 2年

出身校：帝京第五高
出身地：岡山
身長：165cm
血液型：B

- ① しょう・ほうしゅう
- ② 絶対調の時
- ③ スランプの時
- ④ 嘘つかない人
- ⑤ 日本一
- ⑥ 教師



五十嵐 涼馬

五十嵐 涼馬 イガラシリョウマ
法学部 1年

出身校：京北高
出身地：埼玉
身長：174cm
血液型：B

- ① りょうま
- ② 部員が仲良いこと
- ③ 自分の思う剣道ができなく試合等で負けた時
- ④ やさしい人
- ⑤ レギュラーに入り試合で上位進出すること
- ⑥ 教育関係の仕事につくこと



八嶋 悠介

八嶋 悠介 ヤシマユウスケ
法学部 2年

出身校：日本航空第二高
出身地：大阪
身長：171cm
血液型：A

- ① 八嶋・ヤッシー・エセ関西人
- ② 先輩、後輩と稽古しているとき
- ③ 怪我で休んだとき
- ④ 戸田 恵梨香・北川 景子
- ⑤ レギュラーをとる
- ⑥ 警察官・教師



涼介

高橋 涼介 タカハシリョウスケ
法学部 2年

出身校：秋田県私立明桜高
出身地：秋田
身長：182cm
血液型：B

- ① リョウスケ
- ② 体が思うように動いた時
- ③ かかり稽古
- ④ 思いやりのある子
- ⑤ 立ち切りを乗りきる
- ⑥ 警察官（白バイ隊員）



奥野 潤一郎

奥野 潤一郎 オクノジュンイチロウ
経済学部 2年

出身校：銀河学院高
出身地：広島
身長：177cm
血液型：O

- ① オクン・ジュンちゃん・ちゅん
- ② 先輩と稽古すること
- ③ 自分の力のなさに気づくとき
- ④ ちょっぴりSな子
- ⑤ 全国でつづる剣道に近づける
- ⑥ 海の男になる



佐藤 真奈美

佐藤 真奈美 サトウマナミ
法学部 4年

出身校：岩手県立福岡高
出身地：青森
身長：168cm
血液型：B

- ① まなみ
- ② 打ちあげ
- ③ 練習
- ④ 強い人
- ⑤ 全日本女子学生剣道優勝大会出場
- ⑥ 警察官



Naoki Nambu

南部 尚記 ナンブナオキ
医療技術学部 1年

出身校：東海大学菅生高
出身地：東京
身長：167cm
血液型：AB

- ① ぶー
- ② 稽古しているとき
- ③ 勝てないとき
- ④ 上戸彩
- ⑤ レギュラー
- ⑥ これから決める



坂中 雅一

坂中 雅一 サカナカマサヒト
経済学部 1年

出身校：帝京第五高
出身地：愛媛
身長：166cm
血液型：O

- ① まさ
- ② 先輩達とのふれあい
- ③ 最後のかかり稽古
- ④ 好きになった人
- ⑤ レギュラーを取る
- ⑥ 刑務官



ともし

市川 智章 イチカワトモキ
医療技術学部 1年

出身校：銀河学院高
出身地：広島
身長：163cm
血液型：A

- ① ともし
- ② 先輩たちと稽古をしているとき
- ③ なかなか自分の悪い癖が直らないこと
- ④ 明るくて楽しい子
- ⑤ 自分の悪い癖を直す！
- ⑥ これから決める



ながまる あかね

中丸 茜 ナカマルアカネ
法学部 4年

出身校：横浜商科大学高
出身地：神奈川
身長：157cm
血液型：B

- ① -
- ② 同じ目標に向けて仲間と頑張ること
- ③ 練習で出来ることが試合でうまくいかなかったとき
- ④ 標準語じゃないヒト★
- ⑤ 悔いのない成果を残し引退すること！！
- ⑥ 何不自由なく幸せに暮らすこと



西野 哲哉

西野 哲哉 ニシノテツヤ
医療技術学部 1年

出身校：新潟県立新潟商業高
出身地：新潟
身長：174cm
血液型：A

- ① てつ
- ② 先輩達と練習しているとき
- ③ 調子が悪いとき
- ④ ちっちゃくてかわいい子
- ⑤ レギュラー
- ⑥ 全国学生大会優勝



佐藤 慶太

佐藤 慶太 サトウケイタ
文学部 1年

出身校：帝京長岡高
出身地：新潟
身長：172cm
血液型：B

- ① けいた
- ② できなかったことができた時
- ③ 思うように動けなかった時
- ④ 元気で馬鹿
- ⑤ 厳しい稽古を乗り越える
- ⑥ 教師と警察官



今森 功

今森 功 イマモリコウ
医療技術学部 1年

出身校：大宮東高
出身地：埼玉
身長：177cm
血液型：A

- ① コウ・コンモリ
- ② 練習が終わった後
- ③ 自分の剣道が出来なかった時
- ④ 筋肉質な人
- ⑤ 練習をして、しっかり体力をつけて、レギュラーを取る
- ⑥ 教育関係の仕事



☆まし子みき☆

増子 美樹 マスコミキ
医療技術学部 3年

出身校：安積高
出身地：福島
身長：163cm
血液型：AB

- ① まし子
- ② チーム一丸となって勝った時
- ③ 団体戦で自分が、チームの良い流れを止めてしまった時
- ④ ガッチリした人
- ⑤ 全日本出場！！
- ⑥ 公務員



山崎 和

山崎 和 ヤマザキヤマト
医療技術学部 1年

出身校：新潟県立新潟商業高
出身地：新潟
身長：169cm
血液型：B

- ① 獅童・ヤマト
- ② 会話・駆け引き
- ③ 負けたとき・うまくいかないとき
- ④ 胸がドキッとなった人
- ⑤ たくさん笑う
- ⑥ 毎日笑って過ごす・すばらしい人間になる



重軒 浩満

重軒 浩満 シゲノキヒロミ
医療技術学部 1年

出身校：福岡舞鶴高
出身地：福岡
身長：172cm
血液型：O

- ① ひろみ
- ② 稽古で一本取った時
- ③ 集中できない時
- ④ おもしろい人
- ⑤ ケガしないで一年やり通す
- ⑥ 父親を超える



Shuto Endo

遠藤 周斗 エンドウシュウト
法学部 1年

出身校：大宮東高
出身地：埼玉
身長：166cm
血液型：A

- ① しゅーと
- ② みんなといるとき
- ③ 防具がしめってるあの感じ
- ④ ベッキー・アッキーナ
- ⑤ 新人戦の選手
- ⑥ 金持ち



あやか

金井 綾香 カナイアヤカ
医療技術学部 2年

出身校：群馬県立伊勢崎清明高
出身地：群馬
身長：151cm
血液型：B

- ① あや
- ② 団体で自分たちのいい流れを作って勝った時
- ③ 自分の納得できる試合ができなかった時
- ④ バカで顔がうすくて浮気しない人
- ⑤ 早くケガを治して自分のペースを取りもどす！
- ⑥ 有名人になりたい



杉山 実紅

杉山 実紅 スギヤマミク
文学部 4年《主将》

出身校：川崎市立橋高
出身地：神奈川
身長：157cm
血液型：A

- ① ミク
- ② 練習していた技が試合で出せたとき★
- ③ ケガをして稽古ができないとき
- ④ 引っぱってってくれる男らしい人♥
- ⑤ 全日本女子学生選手権大会出場★
- ⑥ 国語科の教員になる！！



竹内 飛鳥

竹内 飛鳥 タケウチアスカ
文学部 1年

出身校：東海大学菅生高
出身地：東京
身長：168cm
血液型：O

- ① あすか
- ② みんなでいるとき・自分を追い込んだとき
- ③ 暑さと湿気
- ④ 木村 カエラ
- ⑤ 選手に入って全国大会優勝
- ⑥ 警察官・体育教師



か め

亀屋 綾 カメヤリョウ
医療技術学部 1年

出身校：岩瀬日本大学高
出身地：茨城
身長：168cm
血液型：B

- ① かめ
- ② 先輩方とのたのしい会話
- ③ 最後のかかり稽古
- ④ 一緒におバカをやってくれる人
- ⑤ めっちゃ強くなる
- ⑥ 体育の先生

中里監督が
選んだ

なんでも ナンバー1

帝京大学剣道部2009

努力家
ナンバー1



吉村翔
(3年)

おしゃれ
ナンバー1



藤井実季
(1年)

スマイル
ナンバー1



熊倉由紀
(2年)

いやし系
ナンバー1



増子美樹
(3年)

マイペース
ナンバー1



古越義隆
(3年)

負けず嫌い
ナンバー1



猪瀬康宏
(3年)

泣き虫
ナンバー1



丸山晃一
(3年)

天然系
ナンバー1



坂中雅一
(1年)



たけうち まり

竹内 真季 タケウチマリ
文学部2年

出身校：作久長聖高
出身地：長野
身長：162cm
血液型：B

- ① まり
- ② 団体でみんな納得した勝ちができた時
- ③ 団体で負けてしまった時
- ④ 黒い人♥
- ⑤ 全日本出場!!
- ⑥ 教師



かわかみ みつこ♡

川上 光子 カワカミミツコ
法学部2年

出身校：東亜学園高
出身地：東京
身長：156cm
血液型：B

- ① 光子
- ② みんなで協力して1つのことを目指していること
- ③ 練習終了後、自分が汗かきなのがわかること
- ④ わかりません
- ⑤ 全日本出場
- ⑥ 好きな仕事に就く



ふじい みき

藤井 実季 フジイミキ
医療技術学部1年

出身校：船橋市立船橋高
出身地：千葉
身長：162cm
血液型：B

- ① みきていー
- ② おしゃべり
- ③ 合宿
- ④ 一途!
- ⑤ 全日本出場★
- ⑥ 幸せに暮らす



くまくら ゆき

熊倉 由紀 クマクラユキ
経済学部2年

出身校：帝京長岡高
出身地：新潟
身長：164cm
血液型：O

- ① 由紀
- ② みんなで団体を組んで試合に勝てたとき
- ③ 追い込み
- ④ 優しい人
- ⑤ 全日本出場
- ⑥ 大学卒業までに決める



さいとう なおこ。

斉藤 直子 サイトウナオコ
医療技術学部2年

出身校：東京都立駒場高
出身地：東京
身長：157cm
血液型：B

- ① なお
- ② みんながいい試合をできたとき
- ③ みんながいい試合をできなかったとき
- ④ 好きになった人
- ⑤ 全日本出場
- ⑥ しあわせになること



さかもと れみ♡

坂本 怜美 サカモトレミ
医療技術学部2年

出身校：船橋市立船橋高
出身地：千葉
身長：157cm
血液型：O

- ① れみ
- ② みんなで騒いでいるとき
- ③ 夏の期間が暑くてきついこと
- ④ 包容力があって優しく頼れる人
- ⑤ 全日本出場!!
- ⑥ お嫁さん

2008年度

2007年度

女子団体戦

9月 関東女子学生剣道優勝大会(東京武道館) 3回戦敗退

- 1回戦 ○帝京大学 3勝0敗2分 ●玉川大学
- 2回戦 ○帝京大学 3勝1敗1分 ●亜細亜大学
- 3回戦 ●帝京大学 0勝3敗2分 ○国士舘大学

11月 関東女子学生剣道新人戦大会(東京武道館) 3回戦敗退

- 1回戦 ○帝京大学 シード
- 2回戦 ○帝京大学 4勝0敗1分 ●防衛大学
- 3回戦 ●帝京大学 0勝4敗1分 ○法政大学

12月 都下大学剣道大会(亜細亜大学) 2回戦敗退

- 1回戦 ○帝京大学 5勝0敗0分 ●日本獣医大学
- 2回戦 ●帝京大学 1勝3敗1分 ○桜美林大学

3月 京都学生親善剣道大会(大谷大学) 予選リーグ敗退

- リーグ ●帝京大学 0勝1敗4分 ○京都大学
- 帝京大学 0勝2敗3分 ○立命館大学

女子個人戦

11月 都下大学剣道大会(明星大学) 2位 佐藤真奈美

- 1回戦 ○佐藤(帝京大学) - シード
- 2回戦 ○佐藤 - ●鈴木(東京経済大学)
- 3回戦 ○佐藤 - ●阿部(武蔵野大学)
- 4回戦 ○佐藤 - ●奥野(東京学芸大学)
- 準決勝 ○佐藤 - ●森野(玉川大学)
- 決勝 ●佐藤 - ○大竹(武蔵野大学)

今後の試合の予定

男子団体

10月25日(日)

第57回全日本学生剣道優勝大会(日本武道館)

11月22日(日)

第55回関東学生剣道新人戦大会(東京武道館)

女子団体

11月8日(日)

第28回全日本女子学生剣道優勝大会(春日井市総合体育館)

*9月19日に行われた関東女子学生剣道優勝大会でベスト16以上の場合

11月21日(土)

第10回関東女子学生剣道新人戦大会(東京武道館)

男子団体戦

9月 関東学生剣道優勝大会(日本武道館) 9位(ベスト16)

- 1回戦 ○帝京大学 シード
- 2回戦 ○帝京大学 1勝1敗5分 ●茨城大学
(代表戦勝)
- 3回戦 ○帝京大学 6勝0敗1分 ●電気通信大学
- 4回戦 ●帝京大学 1勝1敗5分 ○専修大学
(本数負け)

10月 全日本学生剣道優勝大会(日本武道館) ベスト32

- 1回戦 ○帝京大学 1勝1敗5分 ●同志社大学
(本数勝ち)
- 2回戦 ●帝京大学 2勝4敗1分 ○国際武道大学

11月 関東学生剣道新人戦大会(東京武道館) 3回戦敗退

- 1回戦 ○帝京大学 シード
- 2回戦 ○帝京大学 4勝0敗3分 ●東京電機大学
- 3回戦 ●帝京大学 1勝2敗4分 ○明治大学

12月 都下大学剣道大会(亜細亜大学) 優勝

- 1回戦 ○帝京大学 シード
- 2回戦 ○帝京大学 6勝1敗0分 ●武蔵野大学
- 3回戦 ○帝京大学 6勝0敗1分 ●首都東京大学
- 準決勝 ○帝京大学 1勝0敗6分 ●亜細亜大学
- 決勝 ○帝京大学 5勝1敗1分 ●創価大学

3月 京都学生親善剣道大会(大谷大学) 3位

- リーグ ●帝京大学 2勝3敗2分 ○花園大学
- 帝京大学 4勝0敗3分 ●京都創成大学

トーナメント

- 1回戦 ○帝京大学 2勝2敗3分 ●摂南大学
(本数勝ち)

- 2回戦 ○帝京大学 2勝2敗3分 ●同志社大学B
(代表戦勝ち)

- 準決勝 ●帝京大学 0勝2敗5分 ○同志社大学A
- *1年生チームで参加

男子個人戦

5月 東京都学生剣道選手権大会(明治大学) 優勝 石山邦良

- 1回戦 ○石山(帝京大学) - 中野(成蹊大学)
- 2回戦 ○石山 - 浦部(創価大学)
- 3回戦 ○石山 - 谷崎(工学院大学)
- 4回戦 ○石山 - 浅井(日本体育大学)
- 5回戦 ○石山 - 須永(日本体育大学)
- 6回戦 ○石山 - 山田(日本体育大学)
- リーグ ○石山 - 三本(国士舘大学)
- リーグ ○石山 - 桑原(日本体育大学)

女子団体戦

9月 関東女子学生剣道優勝大会(東京武道館) 2回戦敗退

- 1回戦 ○帝京大学 3勝2敗0分 ●山梨学院大学
- 2回戦 ●帝京大学 0勝1敗4分 ○大正大学

12月 関東女子学生剣道新人戦大会(東京武道館) 3回戦敗退

- 1回戦 ○帝京大学 シード
- 2回戦 ○帝京大学 4勝1敗0分 ●山梨学院大学
- 3回戦 ●帝京大学 0勝2敗3分 ○埼玉大学

女子個人戦

11月 都下大学剣道大会(明星大学) 2位 杉山美紅

- 1回戦 ○杉山(帝京大学) シード
- 2回戦 ○杉山 - ●小島(日本文化大学)
- 3回戦 ○杉山 - ●木村(桜美林大学)
- 準決勝 ○杉山 - ●中村(亜細亜大学)
- 決勝 ●杉山 - ○畑中(玉川大学)

男子団体戦

9月 関東学生剣道優勝大会(日本武道館) 9位(ベスト16)

- 1回戦 ○帝京大学 シード
- 2回戦 ○帝京大学 3勝2敗2分 ●明治学院大学
- 3回戦 ○帝京大学 4勝1敗2分 ●日本文化大学
- 4回戦 ●帝京大学 1勝4敗2分 ○筑波大学

10月 全日本学生剣道優勝大会(日本武道館) 9位(ベスト16)

- 1回戦 ○帝京大学 2勝0敗5分 ●立命館大学
- 2回戦 ○帝京大学 3勝1敗3分 ●愛知教育大学
- 3回戦 ●帝京大学 1勝3敗3分 ○鹿屋体育大学

12月 関東学生剣道新人戦大会(東京武道館) 9位(ベスト16)

- 1回戦 ○帝京大学 シード
- 2回戦 ○帝京大学 4勝1敗2分 ●関東学院大学
- 3回戦 ○帝京大学 3勝0敗4分 ●防衛大学
- 4回戦 ●帝京大学 0勝2敗5分 ○日本大学

3月 京都学生親善剣道大会(京都市武道センター) 3位

- リーグ △帝京大学 2勝2敗3分 △花園大学
- 帝京大学 7勝0敗0分 ●京都創成大学B
- トーナメント
- 1回戦 ○帝京大学 3勝2敗2分 ●京都創成大学A
- 準決勝 ●帝京大学 1勝2敗4分 ○同志社大学
- *1年生チームで参加

男子個人戦

11月 都下大学剣道大会(明星大学) 優勝 石山邦良

- 1回戦 ○石山(帝京大学) - ●谷野(武蔵野大学)
- 2回戦 ○石山 - ●長尾(創価大学)
- 3回戦 ○石山 - ●廣谷(工学院大学)
- 4回戦 ○石山 - ●吉川(東京学芸大学)
- 準決勝 ○石山 - ●園田(亜細亜大学)
- 決勝 ○石山 - ●外園(桜美林大学)

◎過去最高成績

男子団体

2000年10月 全日本学生剣道優勝大会(大阪府立体育館) **帝京大学 5位(ベスト8・敢闘賞受賞)**

男子個人

2001年7月 全日本学生剣道選手権大会(大阪府立体育館) **橋本桂一 3位**

2002年7月 全日本学生剣道東西対抗戦(大阪府立体育館) **橋本桂一 優秀選手賞受賞・5人抜き**

わたしがしたいのは、
モデルとして社会に立つこと。

世の中で起きていることを多面的な視点で学びたくて、
文学部 社会学科へ。広告学・雑誌編集出版ゼミを専攻。
マーケティングや雑誌制作に関するフィールドワークを通して、
「社会」を学んできた。
一方、在学中にスカウトされ、モデルとしても活躍。
東京コレクションなど、ショーを中心に活動してきた。
モットーは、「やってみる」。
その行動が、新しい何かにつながっていくから。
人生は、一度しかないから。
松崎は決めた。卒業後もモデルの道を歩き続けていく。

文学部 社会学科 **松崎未来**



Staff

編集	S.blend Inc.
取材・テキスト	上村智士郎
写真	今井恭司(スタジオ・アウバ) 志賀由佳
デザイン	宮武京子 小林明子
印刷	巧芸印刷株式会社
協力	帝京大学学生会体育局剣道部

TEIKYO UNIVERSITY SPORTS OFFICIAL YEARBOOK 2009

The Portrait of Athlete

帝京大学 剣道部
オフィシャルイヤーブック2009

発行：帝京大学本部大学PR推進室
〒173-8605 東京都板橋区加賀2-11-1
URL：http://www.teikyo-u.ac.jp/

本誌掲載記事、写真等の無断複写・複製・転載を固く禁じます。
© TEIKYO UNIVERSITY 2009

Editor's Note

インタビュー一泣かせ

今年の帝京大学の強化クラブ6クラブのイヤーブックの取材は、剣道を最後にほぼ終了した。この間多くの監督、コーチ、選手たちの話を聞くことが出来た。クラブごとに色々な特徴を感じられたが、実はその中で一番苦労したのが剣道部だった。何しろほとんどの選手が口数が少ないのだ。そして多くの選手たちが比較的ゆっくりと話をする。どうしても文字にした時に少なくなってしまうし、単調になりがちになる。だがその実、答えた内容をチェックすると、コンパクトなだけで質問の意図を的確に捉えブレが少ない。聞き手の腕が問われているのだ。そう言えば、中里監督自身も選手に比べればこそ話題は豊富だが、答える内容は質問の意図を的確に捉え、しかも独特の落ち着いた口調でコンパクトに答えてくれた。これもひとつのクラブのスタイルだろうか？ プロ、アマチュアを問わず多弁なアスリートがすっかり増えた中、質実剛健で無口なアスリートも悪くない！？

暑い！ だが…

団体戦のメンバーを決める部内トーナメントの取材は8月9日。好天に恵まれたその日の八王子キャンパスはセミの声がうるさかった。天候不順のため例年ほどではなかったものの、暑いことには変わらない。暑く重い防具を付けて試合をした彼らが、試合を終えてお面を取り、噴き出るように流れ落ちる汗を拭う。彼らの体感温度はどれくらいなのだろうと余計な心配をしてしまう。だが不思議にその暑さが見ている側に伝わってこないことに気付く。彼ら自身が傍から思うほどに暑さを感じていないからだろうか？ それとも汗を拭う彼らの笑顔のさわやかさが暑さに勝っているのだろうか？ 気が付くとまた暑さを忘れて次の試合に見入っていた。

帝京大学のリアルを伝えるインターネット放送局

Teikyo TV



帝京大学のリアルを伝える放送局 「Teikyo TV」が配信中！

近年めきめきと力をつけている帝京大学体育局・運動部の練習の様子から試合の様態、選手の横顔やインタビュー、合宿所の映像など、知られざる学生アスリートの姿をお伝えしていきます。大学スポーツにひたむきに取り組む帝京大生たちの、ありったけの本気を感じてください。

ヤフーチャンネル帝京

検索



<http://teikyo-u.channel.yahoo.co.jp/>